



2007年7月5日
 発行 相原まちづくり協議会
 責任者 理事長 杉崎大吉
 所在地 町田市相原町 798-1
 電話 042 (774) 8005

都道整備等検討会が本格的に始動

東京都、町田市、そして地元委員で構成され、昨年10月発足した「相原駅周辺街づくり及び都道整備検討会（以下「検討会」）〈あいとぴあ第24号掲載〉が発足後8ヶ月を経過し、その活動がより具体的なものになってきました。以下これまでの主な活動経過です。

- ・第1回検討会（平成18年10月27日）：
検討会規約の承認、座長の選出、会の進め方
- ・第2回検討会（平成18年12月22日）：
立体交差道路の視察（府中の清水ヶ丘立体、小金井の貫井トンネル、小平のグリーンロード立体、清瀬立体）
- ・第3回検討会（平成19年2月16日）：
立体交差道路のアンダーパス案（タタキ台）の提示、周辺道路のアクセス等
- ・第4回検討会（平成19年4月26日）：
平成19年度活動スケジュール、検討内容の整理分析
- ・第5回検討会（平成19年6月29日）：
3分科会設置承認、専門家（アドバイザー）の参加要請

大戸踏切のアンダーパス案が提案された

第3回検討会において、東京都から大戸踏切の立体化に関する提案（タタキ台）がなされました。これは現在、大戸踏切と町田街道の平面交差を交通渋滞解消のため、町田街道が横浜線の地下を通る立体化アンダーパス案です。提案の骨子は以下の通りです。

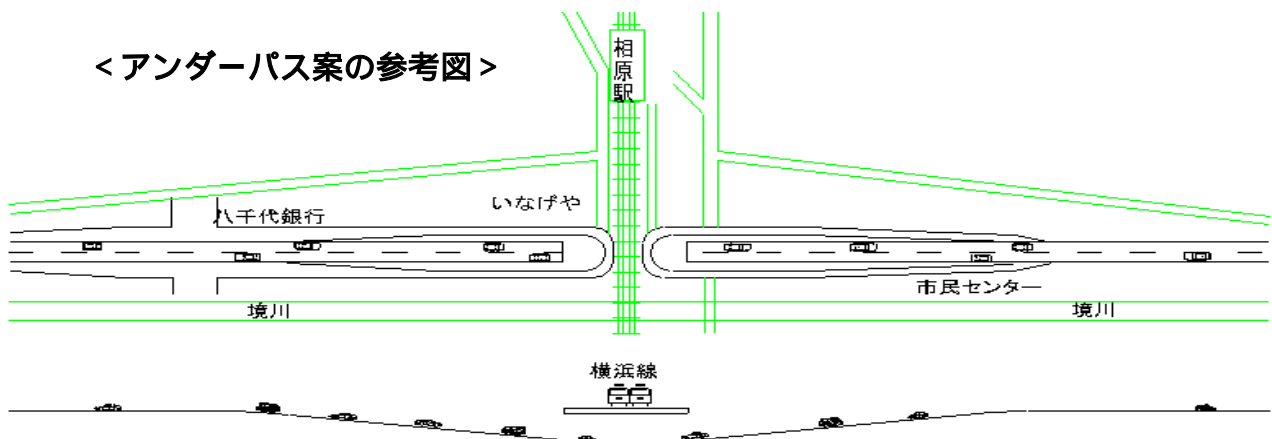
・現在の都市計画道路の幅員ではJR横浜線との立体交差ができないため、一般的な立体交差に必要な幅員を基本とし、まちづくりの中で構成要素の一つとなる町田街道を検討するためのタタキ台として提示されました。

・提示した案は、町田街道の北側から南側へ拡幅、町田街道の中心線から両側へ拡幅、町田街道の南側から北側へ拡幅の3パターンと、各拡幅案について側道歩道の有無を示したパターンの合計6（3×2）パターン。

町田街道の構成等については、検討会の中で検討を行うこととし、整備は東京都が行います。

アンダーパス案のイメージ図を参考までに以下に示します。

〈アンダーパス案の参考図〉



分科会設置し個別に課題検討

東京都から提示された「タタキ台」をもとに検討会で審議した結果、立体化によって交通渋滞の解消が期待される一方、人や車両が町田街道を南北に往来することへの支障をはじめとして、予想される様々な課題が浮きぼりになってきました。そこで、地域の利便性を確保しつつ、より効率的に課題解決に取り組むために、7月から全体会議

と併せて、「相原駅東口周辺」、「相原駅西口周辺」、そして「都道立体化」の3つの分科会を設置し、更に、街づくりの専門家による「アドバイザー」にも加わっていただき、テーマ毎に個別に活動を展開することとなりました。検討会の活動状況につきましては今後とも様々な場を通じて情報提供する予定です。

まちづくり協議会総会で活動方針を決定



相原まちづくり協議会は4月30日、坂下さくら会館で平成18年度の定期総会を開きました。総会は理事・監事のほか、各町会から2名の代議員が出席しました。

総会は18年度の活動報告、同収支決算、平成19年度の活動計画、同予算を協議して、原案通

り決定しました。役員改選では、理事長に杉崎太吉(再)、副理事長に土田恭義(再)、本徳亘良(新)に決定しました。

19年度の活動計画は 大戸踏切立体化・町田街道の拡幅整備 相原駅周辺の東西広域整備 商業活性化と住宅街整備 下水道工事・インフラ整備 相原中央公園・子どもセンターなどの運営に関する市民協力 相原地域の道路網整備計画 境川流域改善計画の相原側改修 大戸緑地を中心とする都有地・市有地の将来計画などです。

夏祭りスケジュール

7月15日 (日)	丸山 仲町
7月20/21日(金土)	武蔵岡
7月21日 (土)	中村
7月27/28日(金土)	大戸
7月28日 (土)	坂下 陽田 丸山団地
8月5日 (土)	堺 元橋
8月18日 (土)	中相原
その他の行事	
8月19日 (日)	諏訪神社礼大祭
8月25日 (土)	大地沢センター祭り
8月26日 (日)	町田市防災
10月7日 (日)	相原フェスタ
11月11日〔日〕	ソフトボール大会

平成19年度相原町会長名

連合町内会会長	丸山会長	石井 悟
連合町内副会長	中村会長	横溝 廣喜
連合町内副会長	中相原会長	北島 一夫
連合町内会計	陽田会長	久和 脩司
連合町内会計	丸山団地会長	関口 直人
連合町内監査	元橋会長	竹牟礼 講一
連合町内監査	坂下会長	田村 勇吉
連合町内庶務	境会長	伊藤 将
連合町内庶務	大戸会長	小林 房頼
連合町内庶務	仲町会長	坂本 憲一
連合町内庶務	武蔵岡会長	平山 富士雄

相原まちづくり相談所の建物が閉鎖

中村地区にある相原まちづくり相談所の建物(2階建)が8月16日で閉鎖され、9月に取り壊しとなります。相原まちづくり相談所は相原駅周辺の区画整理事業のために、設置されたものですが、区画整理事業が中止になったこと、施設が老朽化していることなどから、取り壊すことになりました。

同建物は相原まちづくり協議会の理事会や各グループの会議、サークルの会場に使われてきました。今後、毎月の理事会などは、堺市民センターの会議室を利用することになります。しかし、市民センターの会議室は事前に申し込み、重複の場合は抽選になります。また有料です。

都市ガスの配管が丸山地区まで拡張へ

相原町の都市ガスの配管は、現在、坂下周辺と武蔵丘団地周辺ですが、19年度には拡張されます。東京ガス(株)神奈川地域計画部によると、配管(中圧ガス本管)のルートは坂下から元橋、仲町、陽田、中村、丸山、丸山団地になります。また、武蔵丘団地周辺でも配管が延長されます。家庭に導入する時は中圧管から低圧管に変更します。その整圧器が、元橋の八王子バイパスイン

ターチエンジの入口と丸山団地の入口に設置されます。東京ガスでは、関係する町内会・自治会に詳細を説明することとしています。

本管(中圧管)から家庭までの配管工事費は、個人負担になりますが、毎月の使用量は東京ガスによると、プロパンガスに比べ約35%安くなるということです。

傘ありがとう

まちづくり協議会では相原駅に「かえる傘」を設置しています。丸山団地の樋口健児さんら有志から50本の寄贈がありました。

相原中央公園多目的広場 落成記念式典



4月14日、相原中央公園第3期工事の落成記念式典が中央公園建設促進委員会主催により、完成したばかりの「多目的広場」を主会場として開催されました。当日は前夜からの雨も朝にはやみ、若葉が萌える晴天の下、北島一夫・相原中央公園建設促進委員会委員長からの主催者側のあいさつに続き、石阪丈一・町田市長、黒木一文・市議会議長そし

て石井悟・相原連合町内会長による来賓あいさつがありました。委員長ならびに市長あいさつの中で、「多目的広場」は、新しい試みとして町田市公共施設としては初めての自主管理による運営が行われることが紹介されました。記念式典の後、相原鼓笛隊の演奏、地元消防団による放水、ドッジボール大会、公園内散策、とん汁サービスな

どが行われ、多くの地元関係者同士でその完成を祝いました。平成19年度は総仕上げの第4期工事として、作業棟、子ども遊び広場、散策路・園内道路整備などが計画されています。



いよいよ子どもセンターが着工へ



相原子どもセンター(大型児童館)が今年度から相原中央公園のすぐ脇に着工します。

ここ数年来の相原町連合町会、健全育成相原地区委員会、まちづくり協議会、各子供会、各PTAによる子どもセンターの誘致活動が実を結んだものです。18年度は健全育成委員会中心のおとな委員会と子ども委員会で構成された運営準備会と町田子ども生活部との活発な活動を通して相原子どもセンターの基本設計、実施計画が完成しました。2月12日は堺市民センターで市主

催の説明会がありました。当初、今年7月に工事着工、来年7月に完成予定でしたが、耐震偽装問題などから、建築審査が厳しくなり、着工は遅れています。

今後は子どもセンターへのアクセス道路拡幅と相原中央公園との連絡通路確保などについて、引き続き市と調整していきます。

子どもセンターは子どもの成長のための環境施設であり、また、遊びの拠点で、さらに子育てを支援するものです。とくに相原地区では自然に囲まれた公園や屋外スポーツ広場を活かしたものにします。また、地域の人々がそれぞれの領域を越えて一緒に支えていく施設を目指しています。

大地沢で「上総掘り」を実演

井戸掘りの技術体系として江戸時代から「上総掘り」が有名です。竹と粘土、簡単な鉄の道具で地下何百メートルも掘り進むものです。この技術は、現在、水不足で悩むアフリカなどで日本人の指導で活用されています。この「上総掘り」が大地沢で4月28日から5月27日までの土曜、日曜など11回にわたり、市の主催で行われました。指導したのはアフリカで「上総掘り」を実施しているIWP(インターナショナル・ウォーター・プロジェクト)というNGO組織の人たちです。

木でやぐらを組み、鉄筋棒やタイヤチューブなど、どこでもある道具や機材を使い、人力だけの作業で掘り進みます。大地沢地区は地下に石が多

く、水を掘り当てることは出来ませんでした。しかし、井戸掘りに参加した多くの市民や子どもたちは伝統的な上総掘りを体験できたこと、アフリカなど水不足で苦しんでいる人たちのことを学ぶことができました。



大戸源流森の会に参加しませんか

大戸緑地は、町田市西端部に位置し、東京都と神奈川県を流れる境川の源流域にあたります。高尾山レベルの自然が残る特筆すべき場所です。雑木林の樹木の種類も多くコナラ、クヌギ以外のものが非常に多く混生する点は、奥多摩の深山に匹敵します。これは町田市の大半が多摩丘陵の上ののっているのに対し、大戸一帯が、はるかに古い小仏層を基盤とする関東山地であることによりです。(野津田雑木林の会 資料より)

大戸源流森の会は、平成15年に相原保善会・相原まちづくり協議会・大戸町会と都内の方々を中心とするボランティアの皆さん(大自然塾)のメンバーが集まって結成されました。東京都西部公園緑地事務所のメンバーと共に大戸緑地の雑木林や植林地の手入れを行い、快適なハイキングや散策ができる森づくりを進めています。(写真は雨乞いの碑の場所から見た相模原市街地・ランドマークタワーまで一望できます)また間伐材を使っての炭焼き、椎茸の栽培も行っています。時には

大地沢青少年センターのイベントのお手伝いや、地元の子供たちと一緒に作業をすることもあります。ほぼ1ヶ月に2回の作業日があり、現在までに作業日数は100日を超えました。



手弁当、無報酬の完全なボランティア活動です。参加資格はありません、自然を愛する人であればどなたでもメンバーに入れます。ぜひご参加ください。連絡先：武蔵野市御殿山 1-17-59 東京都西部公園緑地事務所工事課
相原まちづくり協議会の担当:相原町 1801-227(丸山団地) 守屋松則 電話/FAX 042-773-5601 お気軽にお電話下さい。お待ちしております。

・・・花の町相原だより・・・



「花の町相原」は設立以来満5年経過しましたが、この間相原の町に花を増やし潤いのある街づくりに貢献すること

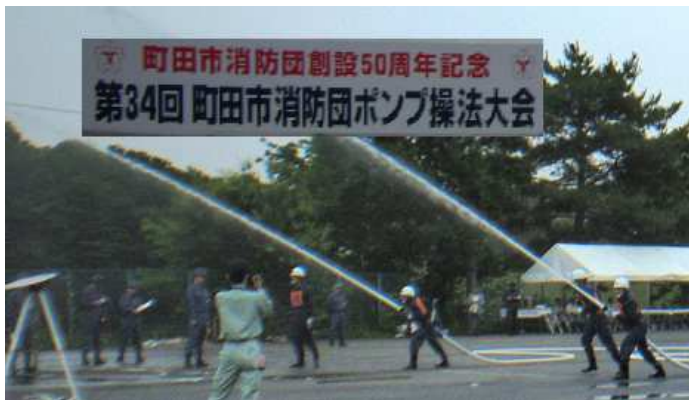
を目途に・花いっぱい運動・を進めてまいりました。今年度からは、郵政民営化等の関連から予算的には厳しい面もございますが会員の皆様と共にボランティア精神を発揮し、町田街道に接する花壇や相原駅西口のプランター管理等、また地域内行事の積極参加(堺センター祭り・相原ふれあいフェスティバル2007)、寄せ植えの講習会、見学研修旅行等従来に増す計画の充実を計って参ります。また、委員会では今年度も一緒に活動して下さる新規会員を募っておりますので花に興味をお持ち

の皆様参加をお待ちしています。連絡先は花の町相原推進委員会 委員長小池 博満 Tel 771-3627



5月20日の総会で小池氏が委員長に選ばれました

町田市消防ポンプ操法大会で5部が優勝



6月17日に五分団大会が開催されました。結果はポンプ車部門で5部が優勝、小型ポンプ部門で4部が優勝、6部が準優勝でした。

6月24日の第34回町田市消防ポンプ操法大会は町田市の中で選ばれた18の部隊が出場し雨の中行われました。相原は4部が小型ポンプの部で3位、5部と6部が出場したポンプ車の部では5部が優勝しました。また個人賞でも最優秀指揮者・塩澤直崇部長 最優秀3番員・吉野 淳隊員 最優秀4番員・高木 伸治隊員が受賞しました。

相原の消防団は大会出場の常連として毎回高い評価を受けています。